

Feng-Shui Gallery

special edition vol.84

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

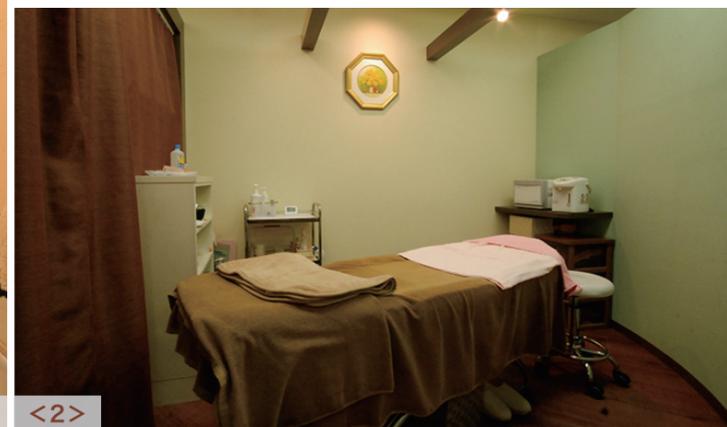
『空間ごとに考える色彩の働き』

～飲食店・エステサロン編～

[写真1・4] 大きなワインセラーが印象的なレストラン。雰囲気重視する空間をデザインする場合、色彩と照明の灯りはとても大切な要素です。濃い色彩は空間に重厚な印象を与え、ムードを高めてくれます。柱や梁にベージュ系の優しい色彩を施すことで、リラックスして飲食を楽しめるように空間を構成しています。[写真2・3] ミントグリーンの壁面が「癒し」を感じさせてくれるエステサロンの施術室。緑色は副交感神経に働きかける色彩の為、気持ちを休ませリラックスした状態で施術を受けることができる空間となっています。[写真5] 活力を高めてくれるオレンジ色の色彩をアクセントに用いたエステサロンの待合室。脳のリラックスには変化が必要と考えられており、脳の働きを一時的に高めることによって、その後の施術によるリラックスモードへの切り替えを、より深いものにすることが可能です。[写真6] 優しいパステルピンクの色彩で構成されたエステ空間。ピンクには女性ホルモンを促す働きがあり、穏やかな気持ちで施術を受け、イライラした気持ちを沈めてくれる働きが期待できる空間デザインとなっています。



<3>



<2>



<5>



<4>



<6>



<1>

飲食店やエステサロンのように、お客様にサービスを提供する空間において、色彩はとても重要な働きをします。「時間」や「体験」をより良いものにする為にそれぞれに適した色彩を選択し空間を構成しましょう。

店舗空間の雰囲気を作り出す上で、色彩はとても重要な働きがあります。お客様に提供するサービスの質を高める為、目的に応じた色彩を選び空間を構成することが大切です。